



平成 23 年 2 月 22 日

各 位

本社所在地 東京都中野区中央二丁目 9 番 1 号
会社名 健康ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 瀬戸 健
コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
問合せ先 取締役 香西 哲雄
電話番号 03-5337-1337
U R L <http://www.kenkou-hd.com/>

主要 3 社月次売上高 (速報) のお知らせ

当社主要連結子会社 3 社の月次売上高につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

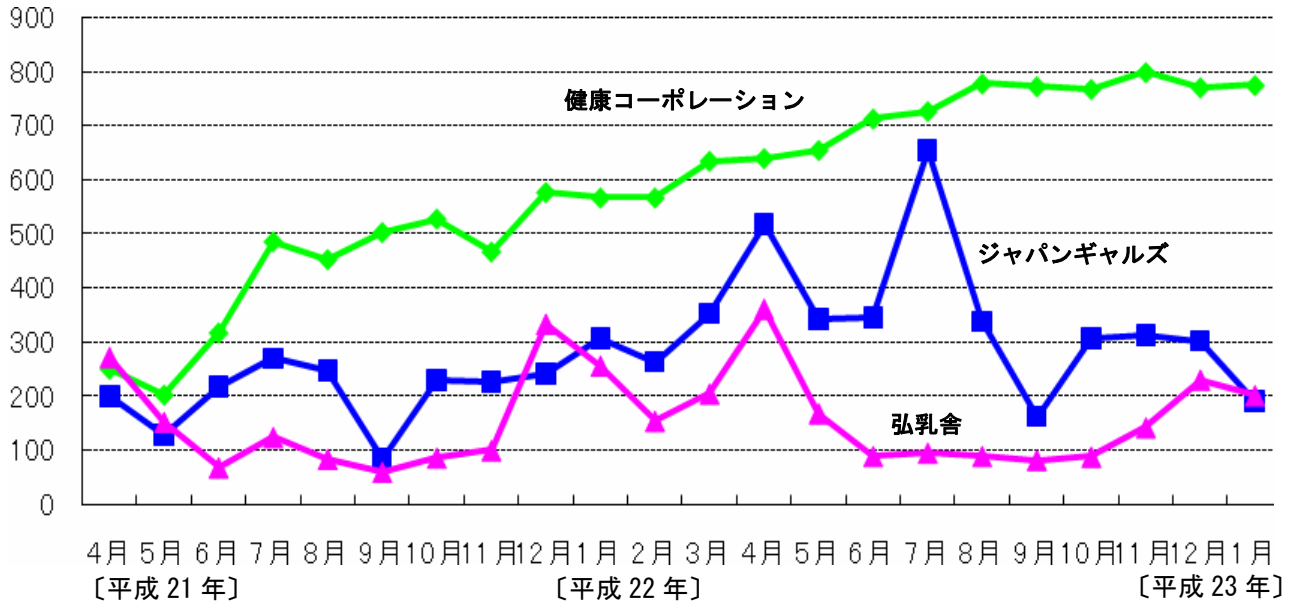
記

(単位：百万円)

	健康コーポレーション		ジャパンギャルズ		弘乳舎	
	売上高	〔前年同月〕	売上高	〔前年同月〕	売上高	〔前年同月〕
平成 22 年 4 月 (実績)	644	〔250〕	518	〔199〕	361	〔272〕
平成 22 年 5 月 (実績)	659	〔202〕	342	〔128〕	168	〔152〕
平成 22 年 6 月 (実績)	711	〔317〕	345	〔218〕	89	〔68〕
平成 22 年 7 月 (実績)	727	〔484〕	655	〔270〕	95	〔124〕
平成 22 年 8 月 (実績)	778	〔453〕	338	〔246〕	89	〔84〕
平成 22 年 9 月 (実績)	773	〔503〕	162	〔85〕	82	〔59〕
平成 22 年 10 月 (実績)	768	〔528〕	307	〔229〕	88	〔86〕
平成 22 年 11 月 (実績)	799	〔467〕	313	〔226〕	142	〔100〕
平成 22 年 12 月 (実績)	771	〔577〕	302	〔241〕	230	〔333〕
平成 23 年 1 月 (速報)	775	〔567〕	190	〔307〕	201	〔256〕
平成 23 年 2 月	—		—		—	
平成 23 年 3 月	—		—		—	

- (注) 1. [] 内の数字は、前年同月の売上高
2. 上記各社の売上高には、グループ間取引を含んでおります。連結決算においてこの種の取引は調整されるため、グループ各社の売上高の合計額と連結売上高とは異なります。
3. 当第 3 四半期までの数値については監査法人による会計監査を受けておりますが、それ以降の数値については会計監査を受けておりません。

(単位：百万円)



会社コメント：平成 23 年 1 月 主要 3 社売上高 概要

健康コーポレーション(株)

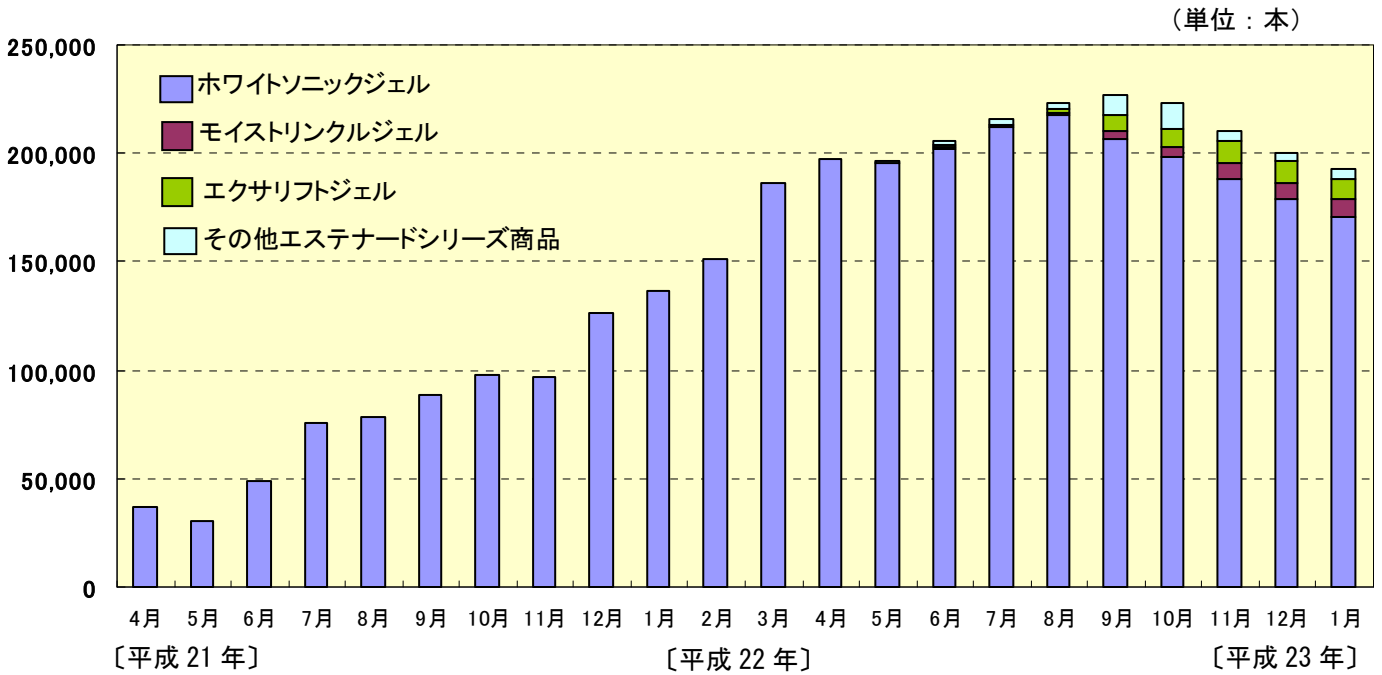
エステナード関連では、人気女性誌 GINGER とコラボレーションして開発した ESTENAD×GINGER オリジナルイオン導入器（ホットジンジャーフェイスジェル付）が、今月も売上高に貢献しています。

主力商品であるエステナードシリーズについては、第 3 四半期以降、エステナードソニック新規獲得のための広告宣伝を抑え、平成 22 年 8 月に新設した福岡コールセンターを中心にテレマーケティングを強化した結果、目的別ジェルの出荷が順調に推移しています。

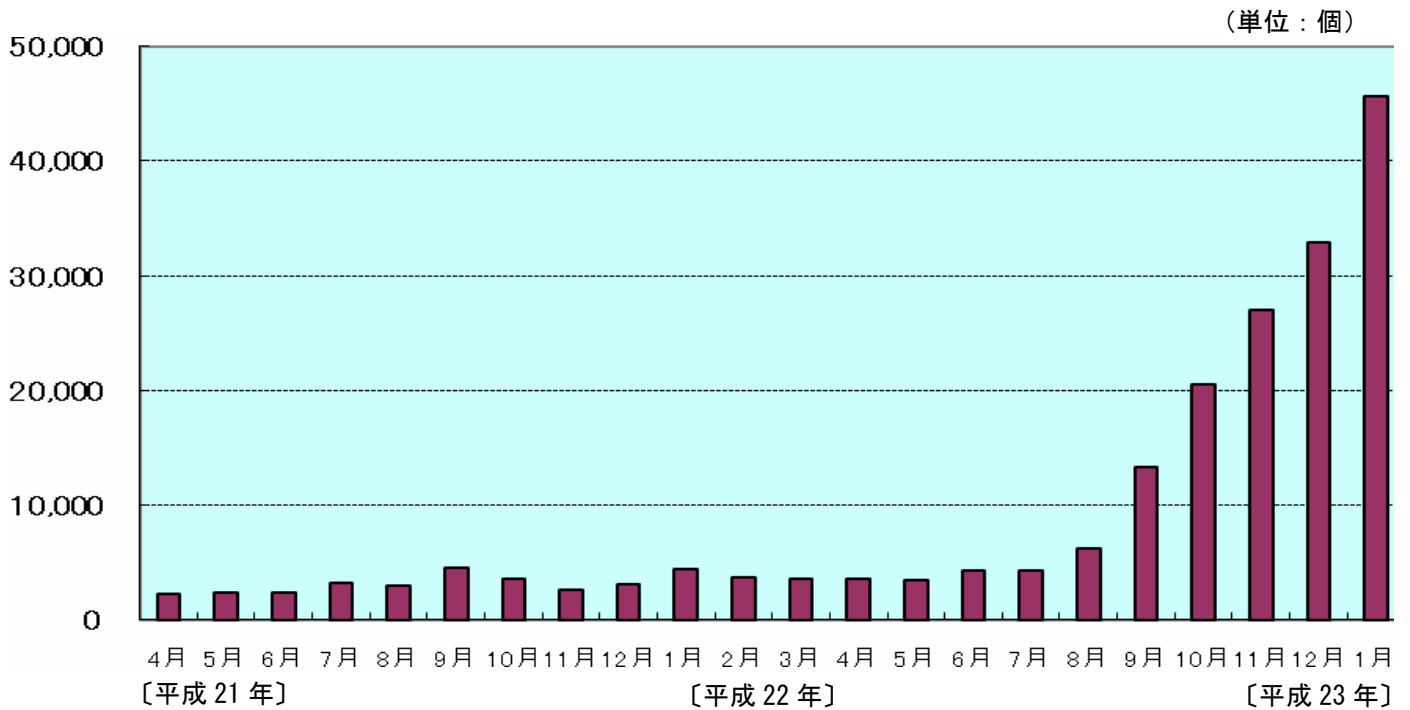
また、ここ数カ月定期発送のホワイトソニックジェルの出荷が微減傾向にありますが、これは主に二つの理由からです。一つは 4 月末以降発売予定の「新」美顔器の広告を今後出していくため、現在エステナードソニック新規獲得のための広告宣伝を抑えていること、もう一つは平成 21 年 12 月から開始した 12 回ジェル定期コースが徐々に終了していることによります。

第 3 四半期以降は、他商品、特に第 2 の柱に育ちつつある「どろあわわ」の広告宣伝の比重を高めております。この結果「どろあわわ」の 1 月の出荷本数は約 45,000 個と上昇傾向にあります。

ご参考：「エステナードシリーズ」 ジェル出荷本数月別推移

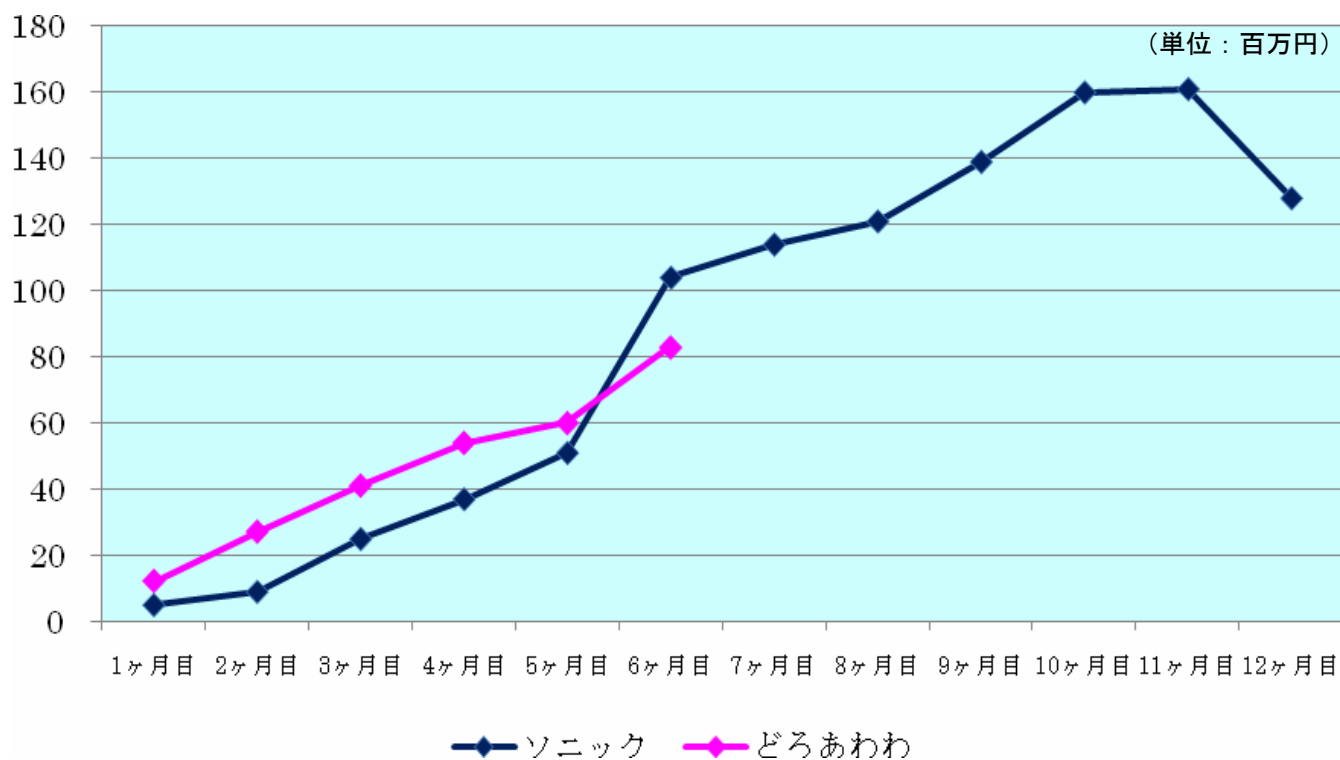


ご参考：「どろあわわ」 出荷個数月別推移



リニューアル後の「どろあわわ」の売上高は、現在主力商品のエステナード「ソニック&ジェル」の発売当初のペースと同じ水準で推移しています。

ご参考：2商品の発売から1年間の単月月次売上高推移（出荷ベース）



㈱ジャパングヤルズ

1月の健康コーポレーション㈱に対する出荷は、約6千万円です。

外部OEM受託製品について、納品時期が一部変更になったものがあるものの、美容液フェイスマスク等の店頭販売向け出荷は順調に推移しております。

㈱弘乳舎

例年通り12月からの約半年間は生乳不需要期にあたるため、余剰乳の加工受託事業の売上高が増えてきておりますが、猛暑の影響等により生乳の供給が減少、余剰乳量も減少する影響が出ております。

また、自社製品事業において、乳製品海外相場高騰の影響を受け国内相場も上昇傾向にあるため、価格の先高を見越して乳製品を売り控えたことにより、乳製品売上高が減少し、全体として、前年同月を下回る売上実績となりました。 以上